学校番号	1011

令和８年度　学国際教養科

教科	学国際教養	科目	（学）韓国朝鮮語Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新・好きやねんハングルⅠ －（白帝社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

母語をしっかりと話せることが、自分のルーツを見つめ、より良いアイデンティティを確立しいく上で大きな意味を持ち自分のルーツへの自信へとながります。
日常生活の中で、一般的な読む力を培うために、家庭生活・学校生活・自然景色・古代生活などの内容を関連つけて学習し多彩な文章に慣れ親しむことで、韓国朝鮮語に対する感覚を磨きましょう。

2　学習の到達目標

日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒の入試を経た生徒の内、韓国朝鮮語を母語とする生徒に対して韓国朝鮮語教育を行い、母語の理解を深める。確実に順序をふんだ読み書きの力を生活に関連させて全体的に高め、言葉のセンスと思考力を発達させ、よい言語習慣を養成している。
韓国朝鮮語の言語及び文字の正確な理解を深め、運用能力、さらに鑑賞力・感性を養おうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	韓国朝鮮語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。韓国朝鮮語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、韓国朝鮮語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	韓国朝鮮語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に韓国朝鮮語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	文法事項	間違えやすい文法事項をとり上げ、正しく使えるように繰り返し学習する。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる b: 韓国朝鮮語を活用し適切に表現したり伝え合ったりしている。 c:聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	会話	日本で生活する中で、母国ではなかったものや経験したことのないものを母語でどのように表現するか一緒に考える。	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 b: 韓国朝鮮語を活用し適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
2	朗読	歴史上特に有名な人物をとりあげ、その人の経歴や、読み物を朗読する。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる b: 韓国朝鮮語を活用し適切に表現したり伝え合ったりしている。 c:聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	作文	テーマを設定して、自分の経験や思いを仮におりこんで書くことができるように書く練習をする	a: 目的や場面、状況などに応じ適切に活用できる技能を身に付けている。 b: 韓国朝鮮語を活用し適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
3	会話表現	母国での経験や学校生活、出身地域の紹介などの活動を通じて、自分の伝えたいことを相手に伝えるためにどんな工夫ができるか一緒に考えています。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる b: 韓国朝鮮語を活用し適切に表現したり伝え合ったりしている。 c:聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度